

第49回 秋のハイキング 矢平山

事務局 山本正雄

平成22年10月3日 曇り時々晴れ

前回の箱根金時山へは所用で(暑さのためではありません)参加出来ませんでした。とある会合で木原常務理事とご一緒させて頂いた折、ハイキング同好会がいかにも素晴らしい活動であり、次回の金時山には是非、参加したらとお誘いをしたにもかかわらず参加出来ませんでしたので、今回は万難を排して参加致しました。

矢平山(800.2m)のある前道志山塊について少し調べてみますと、道志山塊は山梨県南東部に広がる山塊で富士山の北東、桂川と道志川に挟まれた地域に広がる標高1,000m前後の峰が東西に連なる山々で、その北側、旧秋山村に広がる山々を前道志山塊と呼んでいるとの事です。矢平山は、JR中央線梁川駅と四方津駅の南側、前々回のハイキングで行った倉岳山の東に位置する山で、あまり知名度は高くない山だそうです。

今回の参加者は幹事の磯部さん、常連の原夫人、小川さん、宮本さん、木原さん、私の6名?? 集合場所の梁川駅には6名しかおりません。肝心要の乾さんがいない。磯部さんのお話では、乾さんは昨晚とある会合で明け方まで痛飲され1時間程遅れるとの事で、6名での出発となりました。

梁川駅を出て国道を10分程歩くと桂川を渡りました。橋の上からは木々の緑に縁どられた蒼い川の流れがとても綺麗でした。車道を20分程進み「民宿やまみち」を過ぎると、そこが登山口でした。

登山口からは沢を眺めながらしばらくの間、山道を登って行きましたが、沢から離れた途端、道幅が狭く傾斜も急になり、ジグザクの登りとなりました。斜面は次第に傾斜を増し、道も崩壊した後の様でズルズルと滑り歩きづらく、また、所々にはロープを張った箇所もあり、崩れ易い山道をちょっとだけヒヤッとしながら登り、登山口から70分程で寺下峠に到着しました。

この寺下峠の標識は分かりにくく、矢平山の表記がありません。従って矢平山の先の大地峠に向って登って行きました。この山道も急傾斜で滑りやすく、木の根っこや枝につかまりながら、ジグザクに一步一步慎重に登りました。この頃になると、歩き初めて2時間以上が経過している事もあり、呼吸もハアハア足もガタガタと急傾斜についていけなくなり、先頭に行く磯部さん・原夫人に遅れ、宮本さん・小川さんに応援して貰いながらの登山となりました。

やっとのことでこの急斜面を登り切ったのですが、そこは矢平山の頂上ではなく丸ツツク山と言う、一つ手前のピークでした。「残念、やっと思つたのに」と心の中でブツクサ言いながら、せっかく登ったピークを下り、矢平山の頂上へと向いました。この頂上への登りがまた大変で、山道と言うより

は岩場です、ちょっとした岩登りです。急傾斜の岩道を木の根っこや枝、加えて岩につかまりながら登ること40分程でやっと矢平山の頂上に到着しました。残念ながらこの登りでもパテてしまい、先頭よりはかなり遅れて最後にやっと辿り着いた次第です。

山頂は四方を木々で囲まれていて展望はきかないのですが、小さな広場になっておりお昼の休憩には充分でした。

さあ、昼食を食べようかと言うその時、なんと私達の下山路の大地峠の方向から乾さんが登って来ました。全員がびっくり仰天！ 乾さんのお話ですと、1時間程遅れたため四方津駅から予定していた下山路を1時間半で登って来られたとの事。

私達が3時間近くもかけて頂上に着いたと言うのに、逆コースとはいえ半分程度のタイムで登って来るとは、その体力、健脚ぶりにもびっくり仰天！です。

ここで7名全員が揃って、乾さん持参のビール、宮本さんの日本酒、磯部さんが沸かしてくれる紅茶を頂きながら楽しい昼食となりました。

昼食が済むと四方津駅へと下山です。登りと同様に滑りやすい崩れ易い急斜面を下ること30～40分。途中、白っぽい笠の形をしたキノコ(毒キノコだと思います)が群生しているのにはちょっと驚かされながら大地峠に到着しました。

ここには何故か指導標と、ベンチとテーブルが有る休憩所が設置されていました。ここからは広い林道があり、この林道を下るのかと思いきや、この林道は未だ工事中らしく林道に沿うように下りました。「御座敷の松」「馬頭観音」を横目に見ながら下山、大地峠から1時間程で桂川を渡って四方津駅に無事、到着しました。

四方津駅より帰路へ着くと言うのが普通のハイキングなのですが、東塗商ハイキング同好会はここからが本番、そうです「打ち上げ」です。誰一人欠ける者なく相模湖駅前の「かどや」に直行となりました。「かどや」には若林さんが待っていて、全員の席を確保して下さいました。

それもそのはず、下山途中、乾さんと若林さんは頻りに携帯で連絡を取り、四方津駅への到着予定時間や発車時間、相模湖駅到着時間などを打合せておられました。お二人の献身的な努力に対し深く感謝の意を表しつつ、14時13分全員で乾杯をし、おいしいお酒と料理を頂いた後、皆さん元気に帰路に着かれました。